

**市議会文教経済常任委員会資料抜粋**

配布資料	
資料	2
担当課	文化行政課

歳出科目 ( P 44 ~ P 45 )	10 款 5 項 4 目	博物館費
----------------------	--------------	------

単位：千円

事業名	補正前	補正額	補正後
博物館管理運営費	344,928	329,249	15,679

主な補正財源		主な経費	
寄附金	32,100	報償費	162
一般財源	297,149	需用費	169
		役務費	273
		委託料	545
		備品購入費	328,100

**【補正理由】**

国宝「太刀 無銘一文字 (号 山鳥毛)」の取得について、購入契約を締結できないことから事業費を減額するもの

**【補正内容】**

国宝太刀収集事業

(財源内訳)

項目		補正前	補正額	補正後
寄附金	国宝太刀収集事業寄附金	32,100	32,100	0
一般財源		298,690	297,149	1,541
合計		330,790	329,249	1,541

(歳出)

項目	補正前	補正額	補正後
報償費	162	162	0
旅費	584	0	584
需用費	169	169	0
役務費	1,082	273	809
委託料	545	545	0
使用料及び賃借料	48	0	48
備品購入費	328,100	328,100	0
負担金補助及び交付金	100	0	100
合計	330,790	329,249	1,541

< 参考 >

寄附金 (平成 28 年度分) の返還金補正額

2 款 1 項 1 目 一般管理費 (事業名) 国県支出金等還付金 22,562

## 【購入契約を締結できなかった理由】

契約金額に関し、双方の解釈に齟齬が生じたことによる。

〔教育委員会 3億2千万円を上限  
所有者 3億2千万円を基本として、それに上乗せした金額〕

教育委員会は、価格評価額であり、所有者が文化庁へ提出した「国宝・重要文化財売渡申出書」に記載した3億2千万円を上限として交渉を進めてきたものの、所有者は、「市の予算と寄附金を合わせて3億2千万円を大幅に上回った場合は、集まった金額」を希望していた。

## 【経緯】

- 平成 27 年 6 月 16 日 新潟県立歴史博物館からの情報提供  
6 月 17 日 太刀に関する情報収集を開始  
9 月 2 日 **所有者との面会（1 回目）**  
**（上越市の交渉に応じることを確認、所有者は 10 億円を提示）**  
9 月 29 日 教育委員会定例会（経緯を説明）  
平成 28 年 3 月 11 日 **所有者との面会（2 回目）**  
**（所有者から「最初は 3 億円、状況を見て変更」との提案を受ける。**  
**併せて市が価格評価を実施することについて了解を得る。）**  
3 月 25 日 教育委員会定例会（経過報告）  
5 月 31 日 価格評価方法について新潟県立歴史博物館に確認  
6 月 15 日 **所有者からのメール（契約金額のスキームを提示「最低価格 3 億円以上、市の予算 + 寄附等により 3 億円 + は状況を見て判断し、できるだけ 10 億円に近づきたい。」）……**  
6 月 16 日 価格評価（3 億 2 千万円）  
所有者に評価結果を通知  
6 月 25 日 **所有者が、予定対価 3 億 2 千万円、譲渡先を上越市として「国宝、重要文化財の国に対する売渡しの申出」を、倉敷市・岡山県経由で文化庁に提出……**  
6 月 27 日 **所有者からのメール……**  
**（文化庁の知人へ山鳥毛が上越市に行くことになりましたなどを報告したとの連絡）**  
6 月 27 日 教育委員会定例会（経過報告と協議）  
7 月 6 日 **所有者との面会（3 回目）……**  
**（市の購入金額は価格評価額以内、手続として購入予算の議決と購入契約の議決、合わせて 2 回の議会議決が必要であることを説明）**  
7 月 26 日 教育委員会定例会（経過報告と協議）  
8 月 18 日 博物館協議会（購入についての諮問と答申）  
8 月 19 日 教育委員会定例会（購入の意思決定と補正予算提出の承認）  
8 月 23 日 市長記者会見  
11 月 15 日 28 地域自治区での市民講座開始（～12 月 22 日）  
12 月 1 日 所有者からのメール（12 月中の契約締結を打診）  
12 月 6 日 **所有者からのメール……**  
**（市の購入意思の確認とふるさと納税の取組に対する疑問）**  
12 月 9 日 **所有者に市の意思表示として仮契約書の草案を送付……**  
平成 29 年 1 月 19 日 企業版ふるさと納税活用に向け、地域再生計画を内閣府へ申請  
1 月 24 日 文教経済常任委員会所管事務調査（地域再生計画を報告）

- 3月2日 **所有者との面会（4回目）……**  
**（太刀購入までの市としての手続やスケジュールを説明）**
- 3月8日 **所有者からのメール……（契約金額変更を希望、以降も数回あり）**
- 3月24日 購入予算議決  
所有者にメール  
（購入予算議決の報告と4月1日以降の面会を要望）
- 4月11日 教育長名で書簡を発送（面会を再度要望）
- 5月18日 **所有者との面会（5回目）……**  
**（所有者は3億2千万円では契約できないことを意思表示）**
- 5月23日 市長記者会見
- 5月30日 所有者から教育長宛てに書簡  
（交渉内容が担当者から教育長にどのように報告されているかの確認）
- 6月6日 **教育長名で書簡を発送……（5月30日書簡の返信）**
- 6月13日 所有者から教育長宛てに書簡（契約金額案を複数提示）
- 7月19日 **教育長名で書簡を発送……**  
**（3億2千万円は双方合意した金額であることを提示）**
- 7月27日 教育長名で書簡を発送（面会を要望）
- 7月27日 教育委員会臨時会（経過報告）
- 8月8日 所有者を訪問し、面会を求めたが応じてもらえず（～10日）
- 8月21日 教育委員会定例会（経過報告）
- 8月25日 教育長名で書簡を発送（上乘せの真意確認のため面会を要望）
- 8月28日 市長記者会見
- 9月5日 所有者から市長宛てに書簡（白紙に戻す意向を表明）
- 9月11日 文教経済常任委員会で交渉状況を報告
- 9月15日 教育長名で書簡を発送（受取拒否のため、10/11まで4回再送）
- 10月18日 所有者から市長宛てに書簡（契約金額について自分の解釈を説明）
- 11月8日 **所有者との面会（6回目）……**  
**（3億2千万円に上乘せした契約金額を希望しており、具体的には手取り5億円を希望していること、加えて上越市に売り渡す気がないことを確認したことから仮契約の締結はできないと判断）**
- 11月20日 教育委員会定例会（購入断念の意思決定と補正予算提出の承認）

教育委員会は、所有者が最低保証金額として3億円を提示したこと、平成28年6月25日付けで予定対価3億2千万円、上越市を譲渡先とした「国宝・重要文化財売渡申出書」を文化庁へ提出したこと、さらには6月27日に所有者からメールで「文化庁の知人へ山鳥毛が上越市に行くことになりました。手続がスムーズにいくよう、お願い申し上げたところ、本日メールと電話で『由縁の地に話が落ち着き大慶に存じます。書類が届き次第速やかに進めるようにいたします。』との連絡がありました。」との報告を受けたこと、加えて、翌7月6日の所有者との面会で、市の購入金額は価格評価額以内であり、手続として購入予算の議決と購入契約の議決、合わせて2回の議会議決が必要であることを説明し、3億2千万円を上限とする契約金額については合意を得たものと判断した。

平成28年12月6日の時点で、所有者から送られてきた「上越市は、本当に購入する気

があるのだろうか、ふるさと納税を工夫していただかないと3億2千万円以上は無理なんじゃないか。」とのメールに対し、改めて3億2千万円の仮契約書の草案を所有者に送り、市の購入金額を明確に示したことで金額の了解は得たものと考えており、所有者からの反論もなかった。しかし、平成29年3月以降のメールから推察すると、この時点でも一貫して3億2千万円に上乗せした契約金額を期待していたことが考えられる。

平成29年3月2日の所有者との面会では、3億2千万円での予算計上、議会議決・契約等の今後のスケジュールを説明し、併せて所有者の入金先口座、輸送方法や輸送費用負担等も確認し、この時も反論がなかったことから理解を得ているものと判断し、予算議決後、早期に仮契約が締結できるものと考えていた。

このような中、3月8日以降、改めて所有者は3億2千万円に上乗せする金額を複数、メールで提示してきた。

教育委員会はこれに対し、5月18日の面会や教育長名の書簡などを通じて、評価額の3億2千万円が上限であることを再度伝え、この金額での契約ができるよう交渉を進めたが、理解は得られなかった。

11月8日ようやく所有者と面会できたが、3億2千万円に上乗せする契約金額5億円を希望しており、当市には売却しないことを直接確認したことから、所有者に対し購入を断念する意向であること、及び市議会12月定例会において購入予算の減額補正を提案することを伝えた。

#### 【今後の対応】

寄附者に対し購入断念をお知らせするとともに寄附金返還の手続を進める。

(平成30年3月末を目途に返還完了予定)